

正 誤 表

「専門家をめざす人のための緩和医療学（改訂第3版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
74	右段中ほど、「2) 脊髄内鎮痛」の「ポイントと注意点」冒頭	硬膜外腔にモルヒネを投与した場合、 <u>経口</u> のモルヒネ投与量の約 1/10, くも膜下投与の場合は約 1/100 の投与量でほぼ同等の鎮痛効果が得られる	硬膜外腔にモルヒネを投与した場合、 <u>皮下注・静注</u> のモルヒネ投与量の約1/10, くも膜下投与の場合は約1/100の投与量でほぼ同等の鎮痛効果が得られる
86	右段、下から 18 行目	Global Leadership Initiative <u>in</u> Malnutrition (GLIM)基準	Global Leadership Initiative <u>on</u> Malnutrition (GLIM)基準
88	左段、上から 2 行目	除脂肪体重・ <u>握力</u> ^{37, 38)} , 食欲不振の改善が示されている ³⁹⁾ .	除脂肪体重・食欲不振の改善が示されている <u>37-39)</u> .

2026 年 2 月 19 日

株式会社南江堂